

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成 24年 11月 14日
【四半期会計期間】	第61期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	山喜株式会社
【英訳名】	YAMAKI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮本 恵史
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町1丁目3番1号
【電話番号】	(06)6764-2211
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 小林 淳
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町1丁目3番1号
【電話番号】	(06)6764-2211
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 小林 淳
【縦覧に供する場所】	山喜株式会社東京店 (東京都墨田区緑2丁目22番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第2四半期連結 累計期間	第61期 第2四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	8,821,108	8,947,661	16,206,852
経常利益又は 経常損失() (千円)	129,947	41,874	77,371
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	92,936	69,529	31,153
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	537	151,853	184,580
純資産額 (千円)	5,357,869	5,298,977	5,541,897
総資産額 (千円)	13,597,110	14,642,084	13,940,604
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (円)	11.57	8.83	3.88
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	39.4	36.2	39.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	254,311	293,904	1,583
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	76,390	49,078	113,453
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	97,057	55,734	234,830
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	563,871	787,903	610,930

回次	第60期 第2四半期 連結会計期間	第61期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失() (円)	10.49	35.64

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～9月30日）における我が国経済は、東日本大震災の復興関連による公共投資や民間設備投資の増加に伴う回復の動きがあるものの、欧州金融不安に起因する海外景気減速の影響を受けて輸出や生産が低迷しており、不透明感が強まる状況の中で推移しています。国内の個人消費も、雇用環境改善等を受けて若干改善傾向が見られるものの、本格的な回復には程遠い状況にあります。

国内のアパレル業界をめぐる事業環境は、全国的な節電要請に伴うクールビズ需要に期待が集まったものの、天候不順や夏物セール開始時期の分散、電力需給の緩和などから盛り上がり欠け、店頭消化の不振によって卸小売ともに夏物在庫を来年に持ち越す状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループにおいては、クールビズ需要に対応すべく半袖を中心とする夏物ドレスシャツを前年に引き続き増産し、第1四半期の店頭投入は大幅に前年を上回ったものの、店頭販売不振により追加投入が減少し、一転して当第2四半期においては低調に推移しました。カジュアルシャツについては専門店向け等を中心とする夏物商材、特にきれい目のカジュアルシャツが好調に推移し、ドレスシャツの減少を補う売上げをあげることができました。

しかしながら、昨年度末でライセンス期間が終了した「バラクータ」商品の評価損及び売却損、ならびにその他の商品のたな卸資産評価の厳格化にともなう評価損などを計上した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は89億47百万円と前年同期を1.4%上回ったものの、営業利益は3百万円（前年同期2億13百万円）、経常損失41百万円（同1億29百万円の利益）、四半期純損失69百万円（同92百万円の利益）と大きく前年を下回ることとなりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

国内販売

上述の要因により、売上高84億67百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益6百万円（同96.7%減）となりました。

製造

人件費の上昇で採算が悪化しているタイ山喜において生産部門の合理化、販売事業への転換等を推進した結果、業績が回復したものの、その他の工場の生産性が低下した結果、売上高15億42百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント損失1百万円（前年同期は18百万円のセグメント利益）となりました。

海外販売

中国国内販売や東南アジアにおける製品以外の販売が減少した結果、売上高1億24百万円（前年同期比46.0%減）、セグメント損失11百万円（前年同期は11百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は146億42百万円で前連結会計年度末に比べて7億1百万円増加しております。この主な要因はファクタリングに起因する未収入金が増加したこと、売上債権が増加したこと等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は93億43百万円で前連結会計年度末に比べて9億44百万円増加しております。この主な要因は一部仕入形態の変更に伴い、仕入債務が増加したこと等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は52億98百万円で前連結会計年度末に比べて2億42百万円減少しております。この主な要因はドル安に伴い繰延ヘッジ損益が減少したこと、自己株式を取得したこと等であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億93百万円の収入（前年同期比39百万円の増加）となりました。主な内訳は、収入として仕入債務の増加7億47百万円、減価償却費99百万円、支出として未収入金の増加5億4百万円、売上債権の増加1億58百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、49百万円の支出（前年同期比27百万円の減少）となりました。主な内訳は直営店内装などの有形固定資産の取得51百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは55百万円の支出（前年同期比41百万円の減少）となりました。主な内訳は長短借入金の増加45百万円、自己株式の取得77百万円等であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、1億76百万円増加（前年同期は72百万円の増加）し、7億87百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

日本国内における消費動向は、第3四半期以降も引き続き楽観を許さないものと予想しております。衣料品に関しては、デザイン商品志向、機能商品志向が強まり、販売単価上昇が期待される反面、アジア諸国における人件費や原材料価格の上昇は、各種製品コスト上昇の要因となることが予想されます。

これらの状況を踏まえて当社グループにおいては、バングラデシュ・ラオス・インドネシア等中国以外での生産能力を確保するなど、低コストで製品納期を遵守できる生産背景を強化してまいります。国内においては、企画提案力を生かした営業活動により既存のお得意先様におけるシェアの更なる拡大を図るとともに、直営店、Web販売など新しい販路を開拓してまいります。さらには海外工場から東南アジア諸国向けの販売強化や、諸経費の抑制により、通期利益の確保に努めてまいります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,900,000
計	25,900,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,046,233	8,046,233	大阪証券取引所 市 場第二部	単元株式数 100株
計	8,046,233	8,046,233	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	8,046,233	-	2,940,997	-	1,946,470

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
山喜共伸会	大阪市中央区上町1丁目3番1号 山喜 株式会社総務部内	671	8.35
宮本恵史	東京都新宿区	519	6.45
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1丁目4番2号	385	4.79
日清紡ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋人形町2丁目31番11号	381	4.74
宮本武雄	大阪市中央区	371	4.61
山喜従業員持株会	大阪市中央区上町1丁目3番1号 山喜 株式会社内	355	4.42
株式会社オフィスサポート	東京都渋谷区南平台町9番1号	190	2.36
宮本佐知子	堺市西区	176	2.19
村上世彰	東京都渋谷区	113	1.40
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	109	1.36
計	-	3,273	40.69

(注) 上記のほか、自己株式が511千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 511,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,533,100	75,331	-
単元未満株式	普通株式 1,433	-	-
発行済株式総数	8,046,233	-	-
総株主の議決権	-	75,331	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には当社所有の自己株式82株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 山喜株式会社	大阪市中央区上町1丁目 3番1号	511,700	-	511,700	6.36
計	-	511,700	-	511,700	6.36

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,310,669	1,488,499
受取手形及び売掛金	2,573,048	2,727,990
製品	4,703,338	4,781,702
仕掛品	77,642	78,632
原材料	349,140	241,605
未収入金	217,296	721,738
その他	276,566	208,838
貸倒引当金	350	550
流動資産合計	9,507,352	10,248,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,464,356	1,412,170
機械装置及び運搬具(純額)	144,126	139,003
土地	2,137,064	2,124,998
その他(純額)	123,927	172,307
有形固定資産合計	3,869,475	3,848,479
無形固定資産		
373,306		375,246
投資その他の資産		
投資有価証券	81,939	72,669
その他	109,183	98,425
貸倒引当金	652	1,192
投資その他の資産合計	190,469	169,901
固定資産合計	4,433,252	4,393,627
資産合計	13,940,604	14,642,084
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,447,487	3,192,241
短期借入金	1,767,045	1,984,414
1年内返済予定の長期借入金	1,091,524	1,214,774
未払法人税等	39,522	39,619
賞与引当金	30,900	67,500
返品調整引当金	126,000	123,000
その他	526,071	617,457
流動負債合計	6,028,550	7,239,007
固定負債		
長期借入金	1,900,978	1,582,818
繰延税金負債	5,411	4,698
再評価に係る繰延税金負債	323,013	323,013
退職給付引当金	107,907	127,901
その他	32,844	65,668
固定負債合計	2,370,156	2,104,099
負債合計	8,398,706	9,343,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,940,997	2,940,997
資本剰余金	2,770,952	2,754,884
利益剰余金	617,073	686,602
自己株式	1,806	79,306
株主資本合計	5,093,070	4,929,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,270	8,329
繰延ヘッジ損益	19,940	85,660
土地再評価差額金	413,410	413,410
為替換算調整勘定	2,861	27,559
その他の包括利益累計額合計	445,482	363,639
少数株主持分	3,344	5,365
純資産合計	5,541,897	5,298,977
負債純資産合計	13,940,604	14,642,084

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,821,108	8,947,661
売上原価	6,344,153	6,640,713
返品調整引当金繰入額	11,000	-
返品調整引当金戻入額	-	3,000
売上総利益	2,465,955	2,309,947
販売費及び一般管理費	2,252,465	2,306,507
営業利益	213,489	3,440
営業外収益		
受取利息	1,945	2,333
仕入割引	5,626	5,391
受取手数料	36,041	24,211
受取配当金	975	1,001
その他	4,780	8,164
営業外収益合計	49,370	41,101
営業外費用		
支払利息	41,223	43,148
為替差損	80,341	34,246
その他	11,346	9,021
営業外費用合計	132,911	86,416
経常利益又は経常損失()	129,947	41,874
特別利益		
固定資産売却益	735	1,440
投資有価証券売却益	80	-
特別利益合計	815	1,440
特別損失		
固定資産除売却損	34	1,670
投資有価証券売却損	1,560	1,794
投資有価証券評価損	28	-
減損損失	1,278	-
のれん償却額	10,791	-
ゴルフ会員権売却損	-	1,200
災害による損失	1,225	-
特別損失合計	14,918	4,664
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	115,845	45,098
法人税等	30,366	24,868
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	85,478	69,966
少数株主損失()	7,457	437
四半期純利益又は四半期純損失()	92,936	69,529

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	85,478	69,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	940
繰延ヘッジ損益	113,956	105,600
為替換算調整勘定	28,988	24,653
その他の包括利益合計	84,941	81,886
四半期包括利益	537	151,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,762	151,371
少数株主に係る四半期包括利益	7,224	481

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	115,845	45,098
減価償却費	114,334	99,476
受取利息及び受取配当金	2,921	3,334
支払利息	41,223	43,148
投資有価証券売却損益(は益)	1,480	1,794
固定資産除売却損益(は益)	701	229
売上債権の増減額(は増加)	214,686	158,548
たな卸資産の増減額(は増加)	122,343	24,924
仕入債務の増減額(は減少)	177,247	747,490
未収入金の増減額(は増加)	12,775	504,790
その他	309,262	152,617
小計	321,708	357,910
利息及び配当金の受取額	2,692	3,154
利息の支払額	39,763	43,392
法人税等の支払額	30,325	23,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,311	293,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	32,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	54,487	51,326
有形固定資産の売却による収入	1,286	1,906
無形固定資産の取得による支出	-	760
投資有価証券の取得による支出	608	614
投資有価証券の売却による収入	8,104	6,435
その他	1,315	1,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	76,390	49,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	152,590	240,236
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	524,903	594,910
自己株式の取得による支出	-	77,500
配当金の支払額	16,160	16,068
その他	3,403	7,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	97,057	55,734
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,657	12,118
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	72,206	176,973
現金及び現金同等物の期首残高	491,665	610,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,871	787,903

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高	282,421千円	145,101千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融期間の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
支払手形	34,792千円	3,107千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
従業員給料	629,653千円	617,761千円
賞与引当金繰入額	28,800	62,400
運賃諸掛	239,403	240,861
荷造・物流費	233,228	272,870
減価償却費	64,993	61,527
退職給付費用	40,997	40,250
貸倒引当金繰入額	747	740

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,255,410千円	1,488,499千円
預金期間が3カ月を超える定期預金	691,538	700,595
現金及び現金同等物	563,871	787,903

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	16,069	2.0	平成23年3月31日	平成23年6月27日	その他資本 剰余金

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	16,068	2.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	その他資本 剰余金

2. 株主資本の著しい変動

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成24年8月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、同年8月2日に普通株式500,000株を取得いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間において自己株式が77,500千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式が79,306千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,296,126	431,517	93,465	8,821,108	-	8,821,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,763	1,096,301	136,376	1,239,441	1,239,441	-
計	8,302,889	1,527,818	229,842	10,060,550	1,239,441	8,821,108
セグメント利益 (は損失)	202,128	18,716	11,715	209,129	4,359	213,489

(注)1 セグメント利益の調整額4,359千円は、セグメント間取引消去であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,460,508	433,341	53,811	8,947,661	-	8,947,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,343	1,108,660	70,254	1,186,258	1,186,258	-
計	8,467,852	1,542,001	124,066	10,133,920	1,186,258	8,947,661
セグメント利益 (は損失)	6,758	1,913	11,860	7,014	10,455	3,440

(注)1 セグメント利益の調整額10,455千円は、セグメント間取引消去であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	11円57銭	8円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	92,936	69,529
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	92,936	69,529
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,034	7,870

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 24年 11月 13日

山喜株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 本田貫一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている山喜株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、山喜株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管している。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。